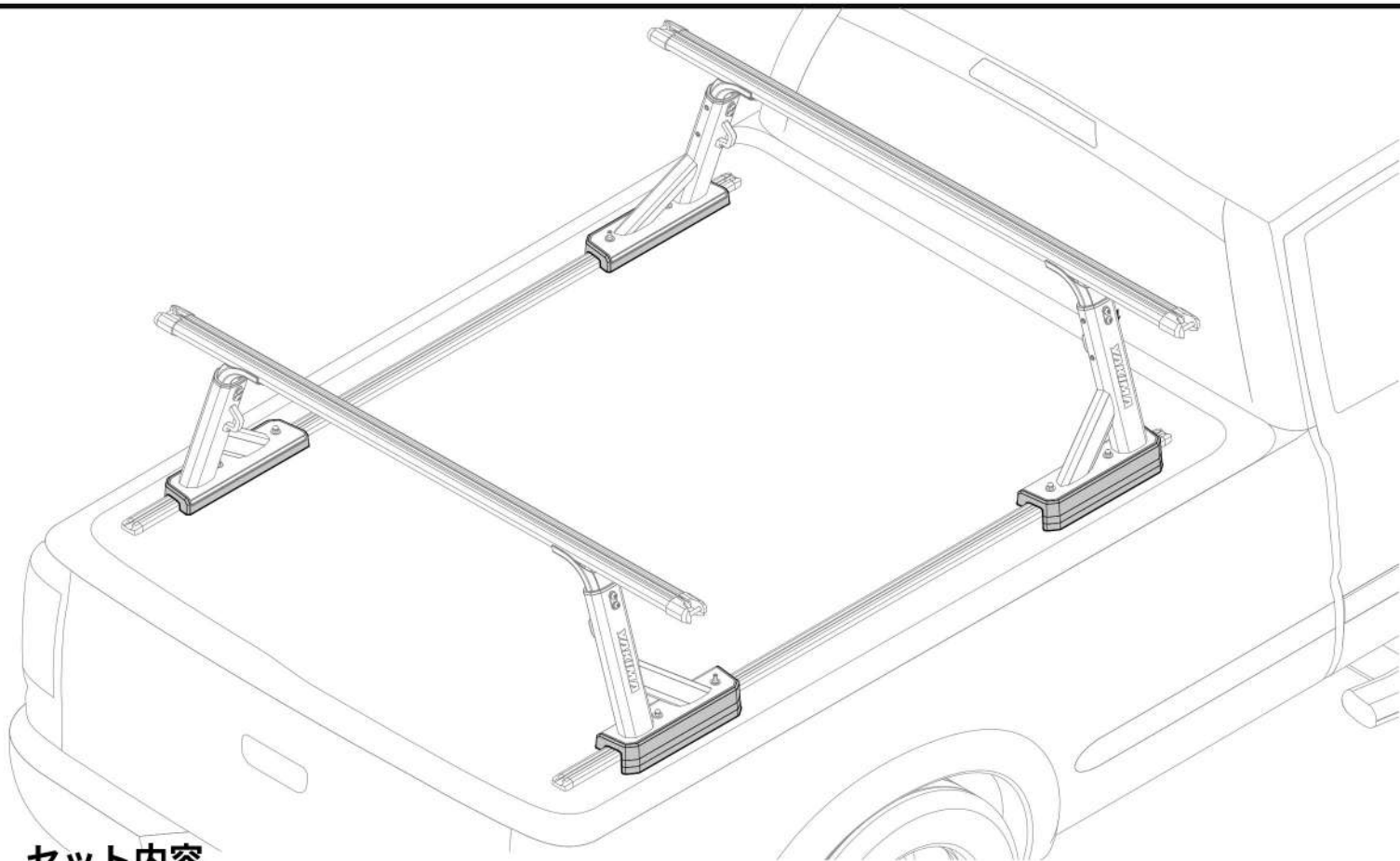
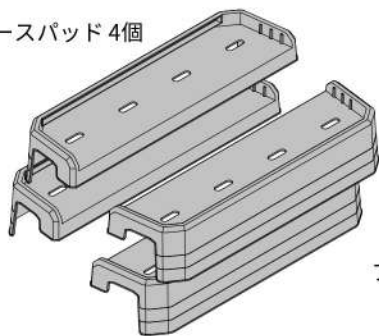




セット内容

ベースパッド 4個



ロックピン 2個



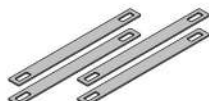
M8×35 Tボルト 8本

M8アコーンナット 6個



M8平ワッシャー 8個

プレート 4個



M13/19mmレンチ 1個

T15トルクレンチ 1個



耐荷重

オンロード：227kg

オフロード：136kg

停車時：363kg

おすすめアクセサリ

サイドバー ショート
#8001153



サイドバー ロング
#8001154



HDフックストラップ
#8001165



ラダーローラー
#8001163



モールパネル
ショート #8001178
ミドル #8001179



ロードストップ
#8001161



アイボルト
#8001162

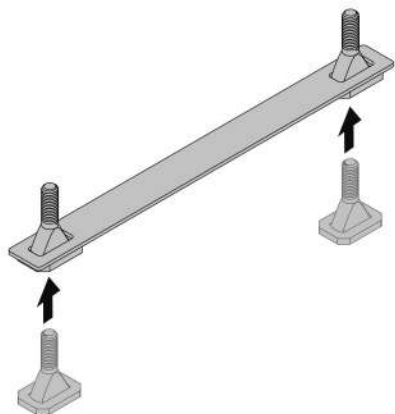


Rotopax取り付けキット
#8001167



1 Tボルトとプレートを組み立てます。

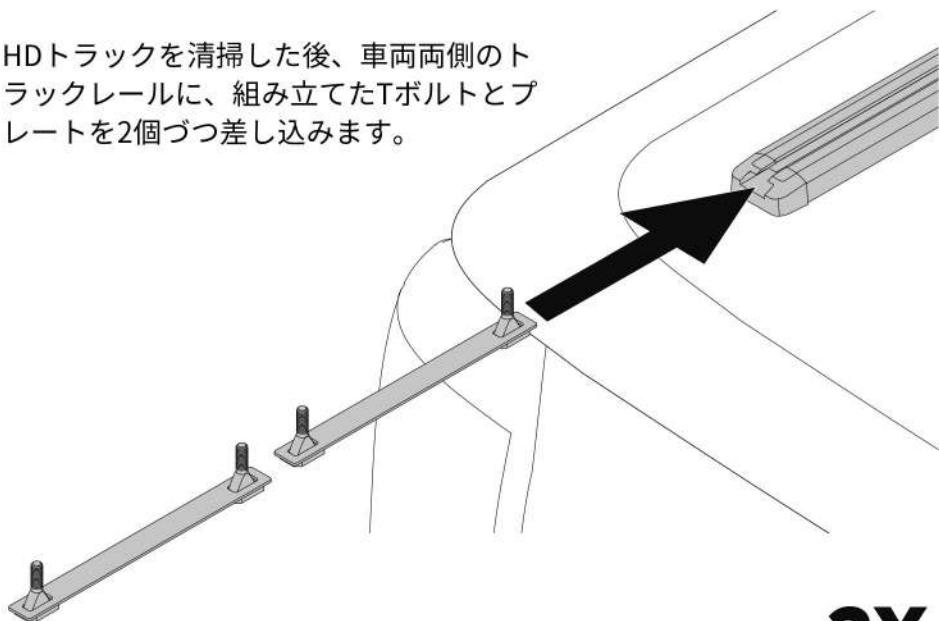
図のように各プレートにTボルトを2本ずつ差し込みます。



4X

2 組み立てたプレートを取り付けます。

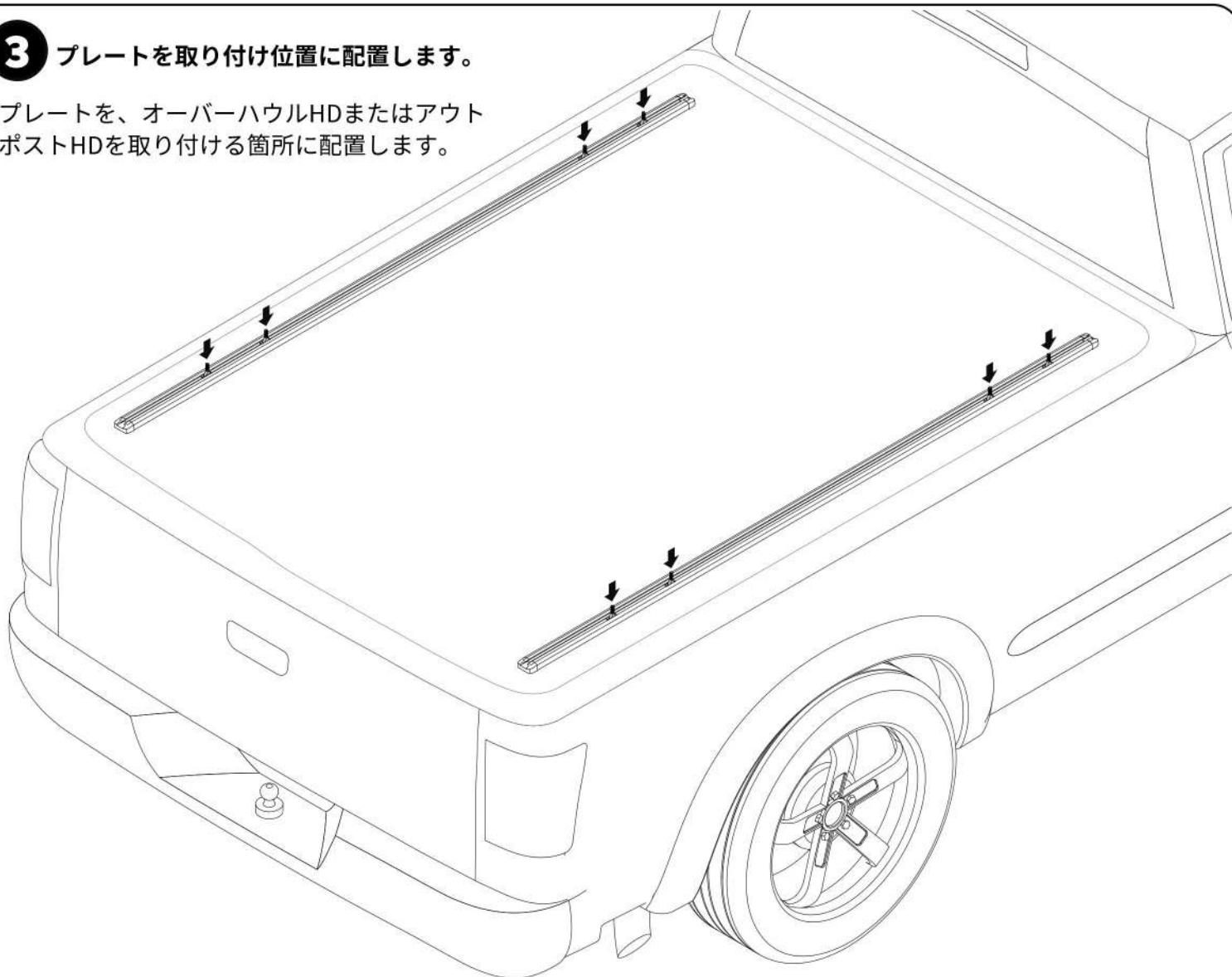
HDトラックを清掃した後、車両両側のトラックレールに、組み立てたTボルトとプレートを2個ずつ差し込みます。



2X

3 プレートを取り付け位置に配置します。

プレートを、オーバーハウルHDまたはアウトポストHDを取り付ける箇所に配置します。





ベッドトラックキット2のベースパッドは、カットして使用できます。車両によっては、カットが必須となる場合があります。また、カットした方が見栄えが良い場合があります。次の手順④でベースパッドとタワーを配置し、カットをするかどうかの判断をしてください。

注意：カットすると元に戻すことはできませんので、よく確認してから進めてください。

④ ベースパッドとタワーを配置します。

ベースパッドをTボルトの上に配置します。次に、タワーをベースパッドとTボルトの上に配置します。

注意

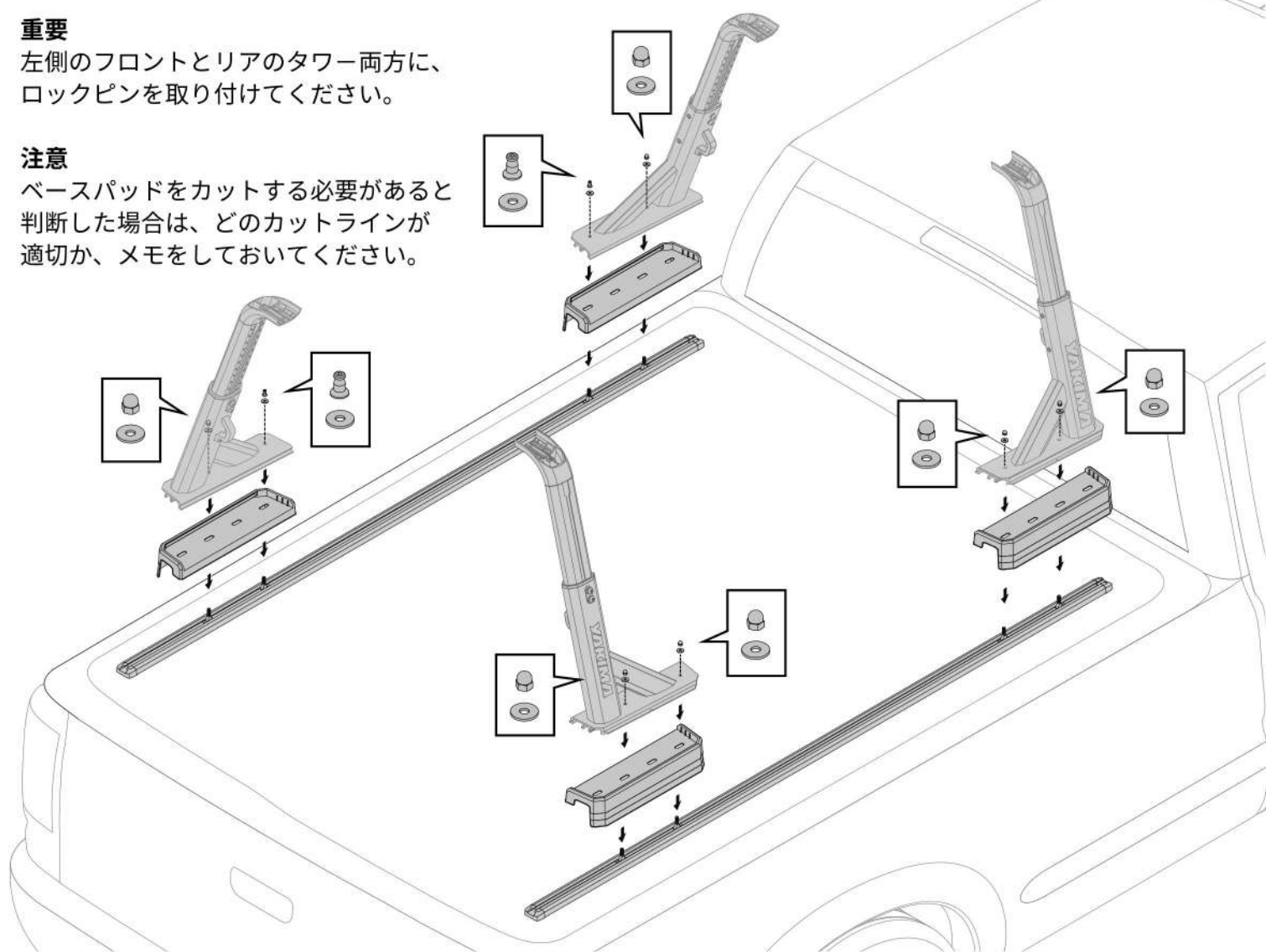
図のように、オーバーハウルHDまたはアウトポストHDのタワーの長辺が互いに向き合うようにしてください。その後、取り付け金具を緩く取り付けてください。

重要

左側のフロントとリアのタワー両方に、ロックピンを取り付けてください。

注意

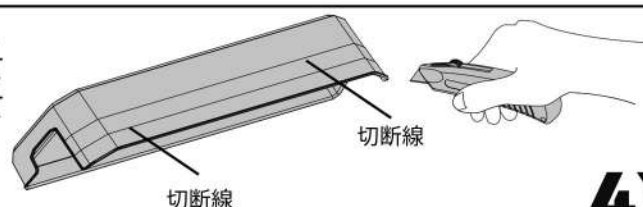
ベースパッドをカットする必要があると判断した場合は、どのカットラインが適切か、メモしておいてください。



ベースパッドのカット方法

オーバーハウルHDまたはアウトポストHDを取り外し、ベースパッドを取り外します。パッドの適切なカットラインに沿ってカットしてください。その後、手順④から取り付けを再開してください。

刃の鋭いカッターナイフや丈夫なホビーナイフを使用すると、きれいに切断できます。



4X

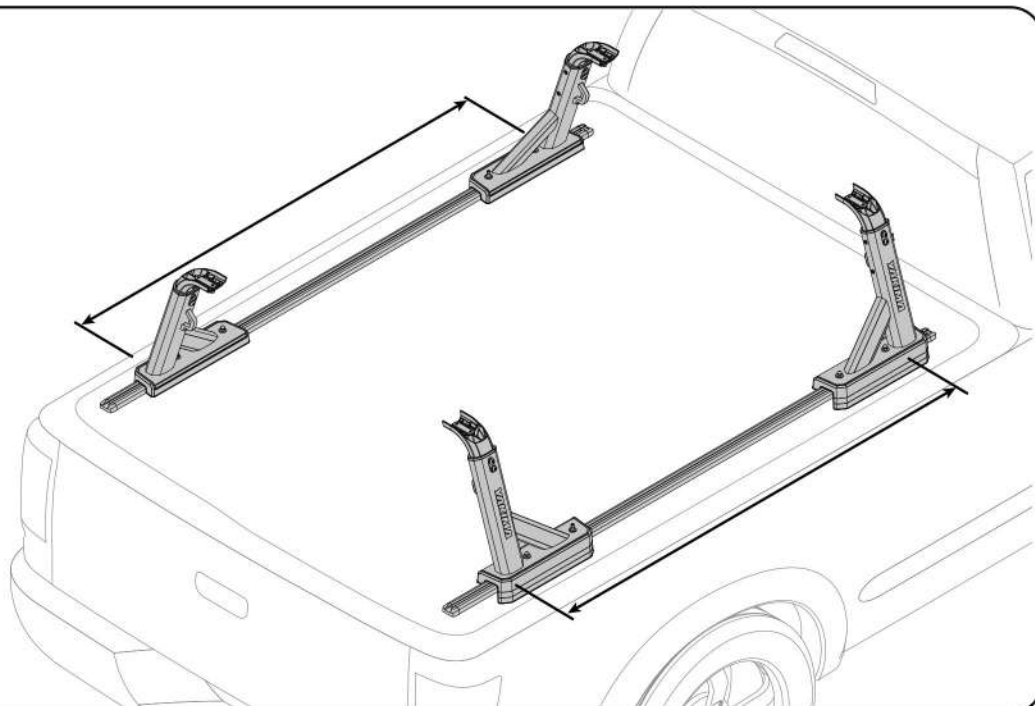
5 ベースの位置を決定します。

キャビンからフロントベースまでの距離が左右で等しくなるように配置します。

同様に、フロントベースからリアベースまでの距離が左右で等しくなるように配置します。

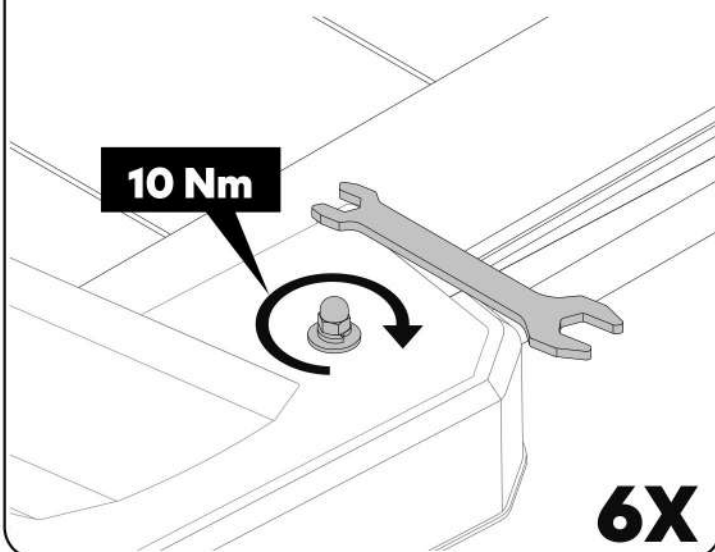
注意

積載能力を最大限に活用するにはクロスバー間隔を91.4cm以上にしてください。クロスバー間隔81.3cmの場合、オンロード耐荷重は136gとなります。



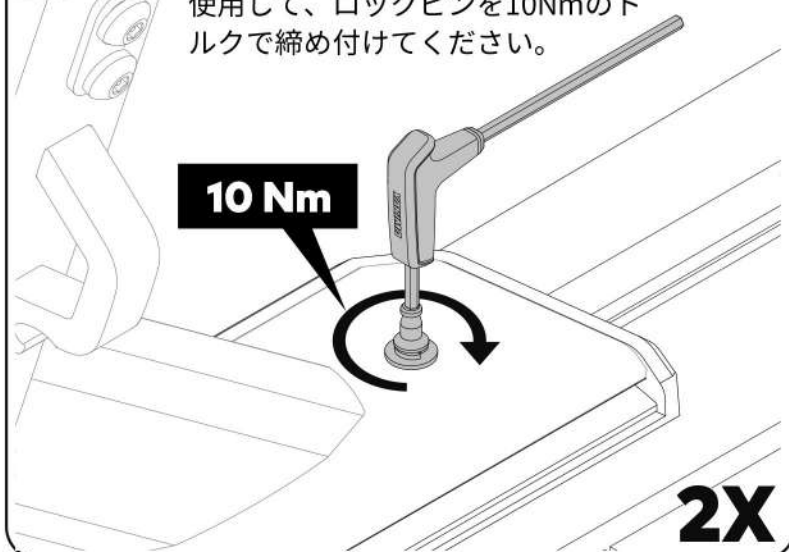
6 ナットを締め付けます。

13mmレンチを使用し、アコーンナットを10Nmのトルクで締め付けてください。

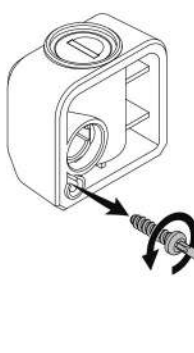


7 ロックピンを締め付けます。

アウトポストHDまたはオーバーハウルHDに付属の4mm六角レンチを使用して、ロックピンを10Nmのトルクで締め付けてください。



8 トラックラックをロックします。



トラックラックをロックするには、まず T-15 レンチを使用して、アウトポストHDまたはオーバーハウルHDに付属の各ロックハウジングからねじを取り外してください。次に、ロックハウジングをロックピンにかぶせ、キーを使用してロックしてください。



2X

9 取り付けを続行します。

アウトポストHDまたはオーバーハウルHDの各取付説明書に従って取り付けを進めてください。

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・ 出かける前
- ・ ラックまたは積載物を載せた後
- ・ 短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・ 長時間の移動では定期的に
- ・ 悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・ 車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL : 0779-89-2171

Mail : info@auto-proz.com

HP : <https://www.auto-proz.com/>